

## 指定管理業務評価結果書

### 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター浴室棟 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波1216番地1 名称 一般財団法人 あばグリーン公社 代表者 理事長 山田 賢一
(3) 公の施設の所管部署	農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

### 2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	阿波保健福祉センター浴室棟 33,929人 (前年度37,612人) 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」 10,204人 (前年度11,574人)
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の運営・管理及び自主事業

### 3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	57,406千円 (前年度62,186千円)
	利用料金等収入	45,953千円
	指定管理料	10,677千円
	その他の収入	776千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	64,334千円 (前年度67,972千円)
	主な支出	
	仕入費	13,825千円
	人件費	27,946千円
	事業経費	22,563千円

### 4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	温泉の泉質、温度、湯量・施設の設備や宿泊サービス・料理・土産物等についてアンケートを実施している。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>平成30年度は、西日本豪雨の影響（風評被害を含む）で利用者及び収入ともに減少となった。</p> <p>利用者の減少傾向対策として、以前から取り組んでいるFacebookによる情報発信、LINEによる割引クーポンの発行など、市内外への情報発信を引続き行った。また、利用者の利便性向上のため、宿泊者のカード利用を可能にした。</p> <p>ふるさとまつりやウォーキング大会、あば村マルシェとのコラボレーション企画など、これまでも協力してきた各種イベントに加え、台湾ツアーの受入れなど、阿波地域全体で取り組みを進めている新しい地域おこしの試みと連携することにより、「あば村」の一員として、より地域性を活かしていく事業の展開を図った。</p>
(3) 市の評価	<p>利用者数及び収益について昨年度より減少した。西日本豪雨の風評被害が長期に渡った感がある。</p> <p>指定管理期間の最終年度であり、情報発信やサービスの向上について様々な取り組みを行い、また阿波地域で一体となって地域おこしに尽力されている姿勢がみえるものの岡山県の災害の影響が大きく、県外からの利用者数及び収益につながらなかった。</p>